

支 援

【第1期 中学2年生 職場体験始まる】

町田市教育委員会の指導課が窓口となり、多くの事業所の協力のもとに実施している中学校の職場体験の第1期が行われました。生徒一人一人が社会的・職業的自立に向けて実地体験し、働くことの尊さを中学生の段階で実感しておくことはとても重要なことです。

指導課・管理係と学校支援センターも、9月17日から20日までの4日間、分担しながら職場体験の受け入れ先となりました。その時の様子を一部ご紹介します。

職場体験初日の朝の打ち合わせでは、職場体験に臨む中学生（以下「実習生」）が職員に向けて、「頑張りますのでよろしくお願いします」と元気にあいさつ。職場体験のスタートです。学校支援センターが職場体験に同行したのは、職場体験二日目の早朝でした。8時前に黄色い旗を持って、近くの小学校の登校安全指導の体験に行きました。通学路にはVCや保護者の方があいさつを交しながら、児童の見守りをしている姿がありました。実習生も元気にあいさつ。小学生が横断歩道を渡る際には、旗ふりもしてみました。登校を見届けた後は、1時間ほど体験先周辺のゴミ拾い。路上のたばこの吸い殻、植込みや隙間から空き缶やペットボトルを拾い集めながら、実習生は何を感じたのでしょうか。10時に市役所に戻って封筒づくりや聞き取り調査の準備を行い、その後昼食。午後は学校交換便の作業に励み、午後4時前には退庁。

この日を含めて4日間の職場体験を最後までやり遂げて職場体験が終了しました。この体験を通じて、働くことの意味や人と協力することの意義を実感し、人と人との関係で社会や産業、各種事業が成り立っていることに気付き、自分なりに満足感や達成感を味わうことで、生徒の将来にとって大きな自信と財産になればと願っています。



通学路でのあいさつや旗ふり



体験先周辺のゴミ拾い



配布文書の投函

【金井小学校2年生 石臼で小麦の粉をひき、うどんを作ろう】

「生活科で、小麦を粉にしたいので石臼が手に入りませんか」という問い合わせが、学校支援センターにありました。いろいろな学校をお邪魔して、資料室に石臼があるのは見えています。その中で、「使える道具を置く」という考えで整備してある忠生第三小学校の石臼をお借りすることを提案しました。

学校間で連絡をとり合い、授業が実現しました。子どもたちは校長先生や担任と、一般的なものより頑丈で重い石臼を回して、一生懸命に小麦粉を作りました。このあと、この小麦粉も入れてこね、うどんを作って食べるそうです。子どもたちは、「回せないかと思っていたが回せてよかった」などの感想をもちました。細身の町田のうどんは無理としても、おいしいうどんを作って食べることでしよう。



【南大谷中学校 ダンス部 外部指導員始動】

南大谷中学校では、生徒からダンスがやりたいという希望が多くあり、部活動として昨年発足させました。ところが、指導者が十分に時間をかけて指導することが難しいため、学校支援センターに人材照会がありました。

登録者ではありませんでしたが、学校支援センターが外部指導員を紹介しました。様子を参観に行ったところ、中学生が若いエネルギーをビートにのせて、大粒の汗を流していました。人材も教材・教具も紹介する学校支援センターとしてこれからも活動していきますので、何でもとりあえずご一報ください。



【三輪小学校 4年 鶴見川での現地学習】

三輪小学校では、4年生が総合学習で鶴見川の学習をしています。第一回目（5月）はNPO鶴見川流域ネットワークの方をお招きして、「鶴見川ってどんな川？」の話をお聞きました。第二回目（9月中旬）には、三輪町在住の方から、野鳥など鶴見川の生き物を学びました。

そして、9月24日の第三回目は鶴見川に実際に入って、どのような生物がいるのか調査しました。4年生は学級ごとに学校から歩いて恩廻調整池公園に集合。第一回目に講演していただいたNPO鶴見川流域ネットワークの方から、川を調査する際の説明や注意をうけ、一人ずつライフジャケットを着用したあと、タモ網を片手に川に入って行きました。けが防止のため靴は履いたままです。網ですくった魚やカニ・エビなどはスタッフの用意したバケツに一時入れておきます。それほど時間がたたないうちに、10種類ほどの水棲生物が集まりました。ネットワークの講師の方から、種類ごとに名前や特徴を教わりました。昔から生息するもの、近年見つかるようになったものなど、現在の鶴見川の生物を学んだ総合学習の時間でした。授業の終わりには、子供同士で川に行かないことと、川から上がった後は必ず手足を洗うことの約束をして、現地学習を終了しました。



《PRコーナー》

町田市生涯学習センター
からのお知らせです

2013
来て見て楽しんで
生涯学習センターまつり 第2回

10月25日(金)・26日(土)・27日(日)
午前9時30分～午後5時まで

《発表》

コーラス
器楽演奏
和太鼓
ダンス
朗読
劇
演劇
マジック



《展示》

■道真花菱紙
絵巻
生け花
陶器
絵紙
折り紙
エッセイ
俳句
古典

観覧券※27日(日)のみ

場 所：町田センタービル(109MACHIDA) 6～7F
お問合せ：町田市生涯学習センター ☎042(728)0071

10月25日から三日間、「さあ ときめき体験しよう!」のかけ声のもと、町田市生涯学習センター主催の2013第2回生涯学習センターまつりが開催されます。

会場は町田センタービル(109MACHIDA) 6～7階です。発表や展示がたくさん予定されており、その中には学校の授業や課外活動などにとり入れてみたい活動もありそうです。

こうした機会に、活動分野開拓として、また、人とのつながりを広げるためにお出かけになってみてはいかがでしょうか。

ボランティアコーディネーターはじめ学校関係者の参観をお待ちしております。

事務連絡

《2013年度学校支援ボランティアコーディネーター研修会の概略について》

今年度も、生涯学習インストラクターの会と共催で、VC研修を開催することになりました。

1 日 時

2013年10月28日（月） 午前9時30分～正午

2 場 所

市役所2階 市民協働おうえんルーム

3 テーマ

シニアボランティアの力を活かすために

4 講 師

NPO法人まちと学校のみらい 副代表、あおば学校支援ネットワーク代表 竹本 靖代 氏
(地独) 東京都健康長寿医療センター研究所 鈴木 宏幸 氏、倉岡 正高 氏

5 内 容 (予定)

- ・地域とともにある学校づくり
- ・シニアの特徴とシニアボランティア活用の意義と課題
- ・小グループによる意見交換

※詳細は後日連絡をします。ぜひ、ご参加ください。

【教員紹介・発掘】

かつては現役だった「糸車」が年月の経過とともに劣化し、使用不能になっていました。それを、忠生三小のボランティアの方に修理していただき、見事に使用できるようになりました。綿を糸にする道具です。使ってみたい学校はご連絡ください。

また、学校参観でお邪魔した際、このような古民具等がありましたら、ぜひ見させてほしいと思っています。宜しくをお願いします。

【小学生のハローワーク】

夏休み、市役所1Fのイベントスタジオで、夏休みの自由研究支援を目標に、いくつかの部署が展示しました。教育委員会指導課も参加しましたが、その一画に「どんなゲストティーチャーに来てほしいか」等のアンケートをおきました。隣の展示ブースが市民病院ということもあったのか、2校の4年生女子3人が「看護師に来てほしい」と書いてくれました。

そこで、すぐにはいきませんので、看護師の大雑把な仕事内容をイラスト8枚にまとめる試みを開始しました。完成したら紹介します。

【朝日小学生新聞出前授業の紹介】

生涯学習センターで「夏休み子どもフェア」が開催され、紹介できるプログラムはないか参観に行きました。すると、町田市内の朝日新聞販売所の企画で、小学生に記事の書き方を教える講座があり、児童が総合的な学習の時間で作成する○△新聞作りに役立ちそうだと思います。デジカメで撮った写真を印刷して切り貼りします。記事は手書きです。中学年向きかと思いました。2時間でできるそうです。興味のある学校は、支援センターまでご連絡ください。